

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

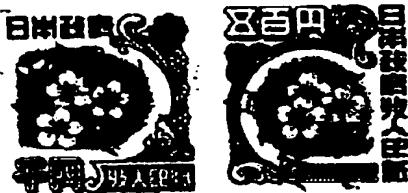
Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**



請

1,500円

実用新案登録願

昭和49年7月24日

特許庁長官殿

フリガナ

1. 考案の名称 ヘッドホーン用バット

2. 考案者

フリガナ
住所

東京都足立区吉田1丁目15番7号

フリガナ
氏名

株式会社 吉田興業内

吉田 幸次郎

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 123

居所

東京都足立区吉田1丁目15番7号

名称

株式会社 吉田興業

代表取締役 吉田 幸次郎

4. 代理人

方査

郵便番号 110

住所

東京都台東区上野3丁目23番6号

氏名

(1608) 辨理士 旦

六郎治

(ほか 1名)

電話 (834) 3621 (代) ~ 6

5. 添附書類の目録

1	委任状	(追って補充する)	1
2	明細書		1
3	図面		1
4	願書副	087863	1



1 通
1 通
1 通
1 通

明細書

1

1. 考案の名称 ヘッドホーン用パット

2. 実用新案登録請求の範囲

環状緩接体とこの緩接体の外側に被包し得る
ように形成したカバー体とよりなるヘッドホー
ン用パットにおいて発泡ポリウレタン、その他の
の弾性体よりなる環状の緩接体1の外側にベッ
チン、ラシヤ等の如き柔軟にして通気性、吸湿
性のよい生地より裁断せる円形の上面用片2と
同じ生地よりなる帯状片3の両端部を縫合して
輪状に形成した側部用片4とをその外周縁のみ
にて縫着し、さらに側部用片4の裏面内周縁に
塩化ビニールの如き防湿性を有する環状薄片5
の外周縁を縫着してなるカバー体の前記塩化ビ
ニール薄片5と緩接体1の間にヘッドホーン本
体6の錫緑部7を挿入し得るよう形成したヘ
ッドホーン用パット。

5

10

15

3. 考案の詳細な説明

本考案は発泡ポリウレタン等よりなる環状緩
接体の外側にベッチン、ラシヤの如き柔軟にし

20

て通気性、吸湿性のよい生地より裁断せる円形¹の上面用片と同生地よりなる帯状の布片の両端部を縫合して輪状に形成した側部用片とをその外周縁のみにて縫着し、さらに側部用片の裏面内周縁に塩化ビニールの如き防湿性を有する環状薄片の外周縁を縫着してなるカバ一体の前記塩化ビニール薄片と継接体の間にヘッドホーン本体の銅線部を挿入し得るよう⁵に形成したヘッドホーン用パットに係るものである。

以下図についてその一例の詳細を説明する。
図中¹⁰1は発泡ポリウレタン又はスポンジの如く柔軟なる弾性体よりなり、その中心を開口せる環状の継接体であり、¹⁵2はベツテン(ペルベット)ラシヤ等の如き柔軟にして通気性、吸湿性に富み、しかも外観の美観な生地より裁断せる円形の上面用片、²⁰3は²と同生地を細巾に裁断した帯状片で、この帯状片³の両端部を縫合して輪状の側部用片⁴を形成し、これを上面用片²の外周縁部に縫着する。さらに上記側部用片⁴の裏面内周縁に塩化ビニール又は塩化

ビニールレザーの如き柔軟にして防湿性を有する繊状の薄片5の外周縁を接着してカバー体を形成する。しかしてこのカバー体の前記塩化ビニール薄片5と継接体1の側面との間に第1図の如くヘッドホーン本体6の鋸縁部7を挿入し得るようとしたものである。尚図中8は側部用片4を形成する繊状片8の両端の縫合部、9は継接体1の中央の開口部、10は掛けバンド11に取付けた頭当てバットを示す。

本考案のカバー体は上述したように側部が帯状の布片の両端部を縫合してまち状になつてゐるのでカバー全体に柔らかさを生じ、さらにこのまちを入れたことにより特に材質的に延びる生地でなくともその内側に発泡ポリウレタン等よりなる繊状の継接体1を容易に挿入し得る効果がある。又本考案のカバーの主体はペツテンやラシャ等の如く柔軟で肌ざわりがよく、しかも通気性、吸湿性のよい生地を使用しており、又繊状継接体1の中央の開口部9の部分もカバー体の上面用片8にて被包するようになつてい

1

5

10

15

20

るが、これらの生地は通気性がよいのでヘッドホーンより発する音波は緩接体1の中央の開口部9を経てカバ一体の上面用片2の布目の間を容易に透過し得るものである。しかも上記の如く柔軟なる緩接体1のさらに外側に柔軟にして5
肌ざわりのよい生地で全面的にカバーしてあるので、このカバ一体にて被包されたヘッドホーンを長時間耳に当ててもヘッドホーンの当10
る耳朶や頬部に圧迫感や疼痛を感じさせることがない。尚ベッテンやラシャなどは吸湿性がよいので、たとえ汗をかいてもこれを吸取るから顔面の肌をあらすことなく、従つてフェイヤーンホーンを使用しても顔面や耳朶に汗疹等ができるたりすることがない。しかもベッテンやラシヤは比較的安価で、大量生産が可能であるから生産コストも安く、又カバーが汚れた場合は容易に交換、又は取外して洗浄することも可能である等の効果を有するものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案のカバ一体にてヘッドホーン

20

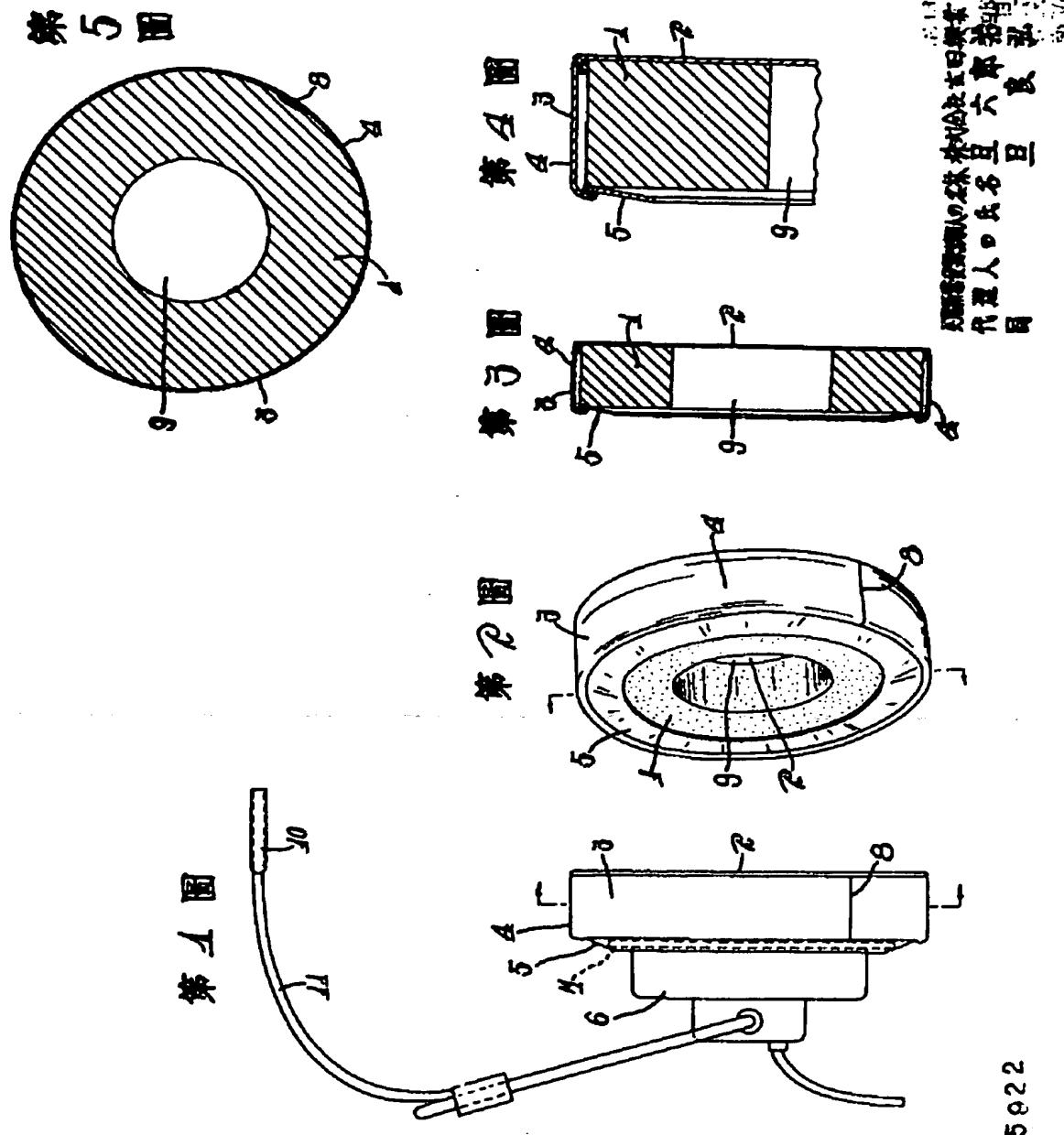
を被包した場合の正面図，第2図はヘッドホー
ンより外した状態におけるカバーボディの斜視図，
第3図は第1図の断線に沿つたカバーボディの縦断
面図，第4図はその一部の拡大断面図，第5図
は第2図の断線に沿つたカバーボディの断面図であ
る。

1…環状の緩接体，2…ペッテン，ラシャ等
の生地より裁断せる円形の上面用片，3…2と
同生地より裁断せる帯状片，4…帯状片3の両
端部を縫合した輪状の側部用片，5…塩化ビニ
ールなどよりなる環状の薄片，6…ヘッドホー
ン本体，7…ヘッドホーン本体6の錫線部，
8…帯状片3の両端の縫合部，9…緩接体1の
中央の開口部，10…頭当てバット，11…掛けバ
ンド。

15

实用新案登録出願人 株式会社 吉田興業
代 理 人 旦 六郎
同 旦 良 弘

20



15922

明治51年2月26日提出
六本松市
代表人・氏名
日食
日食

22

5. 出願審査請求書
6. 前記以外の代理人

1 通

郵便番号 110
住 所 東京都台東区上野3丁目23番6号
氏 名 (6094) 辦理士 旦 良 弘